

2017年2月23日

名古屋市長 河村たかし様

相生山の四季を歩く会事務局 田中眞理  
ラブリーアース Japan 事務局 古川善嗣  
名古屋市南区豊 4-22-10 tell /fax052-821-6463

相生山緑地を「自然を大事に」して「世界の AIOIYAMA」とするための提案書

1. 来年（平成 29 年）度予算について。

道路事業廃止のための作業が進められていると認識しています。土木交通委員会でも意見があったように、道路に供するための構築物や構造物などへの維持管理等の予算は不必要であると考えます。よろしく精査、検討下さい。

2. 市民への説明・意見聴取について。

市長の英断を支持するものです。しかし、「世界の AIOIYAMA」は、地元など相生山緑地に関わる人びとのみならず、広範な市民や、全国から注目する、より多くの人びとの理解や支持を得て初めて、実現する力を得ると考えます。

市長の現任期中に「相生山」での実践結果を広く示す意味からも、市民の声を聞くことをも含めた「経過説明会」の設定を提案します。

3. 長期未整備公園緑地の事業着手に関連して。

市の「緑の基本計画 2020」や「長期未整備公園緑地の都市計画の見直しの方針と整備プログラム」が示され、平成 29 年度末までの第 1 期事業着手が公表されています。

相生山緑地内の土地所有者や周辺地域の人びとの意識調査を一部試みましたが、市の方針とは乖離があり、「名古屋市に願いは届いていない」との声が多く聞かれました。

「世界の AIOIYAMA」を目指す上で、この面での課題克服は必須であると考えます。

前項と合わせて、市民への、さらなる説明や意見聴取の機会が必要と思われます。

4. 「自然を大事に」の基本姿勢について。

自然は、相生山の森（樹林地）は、そこに存在しているだけで意味があると考えます。人が利用しようとしまいと、人の利益になるかならないか、に関係なく。なぜなら、ヒトは自然（森）の中から生まれ、自然の中にある「いのち」をいただいて初めて生存し続けることが出来ているから。子どもたちは、自然（森）の「たくさんのさまざまないのち」を感じて、いきいきと成長していきます。

自然（森）をどう利用するか、などという小さな話にとどまらず、「自然とともに生きていく名古屋市政の在り方」を未来に発することを求めます。

以上